

沿線価値創造の取組について

阪神電気鉄道株式会社 沿線価値創造推進室

2024.5.10



線 名	区 間	キロ程
本 線	梅田～元町	32.1km
阪神なんば線	大阪難波～尼崎	10.1km
武庫川線	武庫川～武庫川団地前	1.7km
神戸高速線	元町～西代	5.0km

総計 48.9km
(第2種鉄道事業含む)



総延長 50 km弱



大阪梅田ツインタワーズ・サウス



大阪梅田駅（3・4番線ホーム）

線 名	区 間	キロ程
本 線	梅田～元町	32.1km
阪神なんば線	大阪難波～尼崎	10.1km
武庫川線	武庫川～武庫川団地前	1.7km
神戸高速線	元町～西代	5.0km

総計 48.9km

(第2種鉄道事業含む)



総延長 50 km弱

大都市間でありながら、海と山に隣接した豊かなエリア

神戸・芦屋・西宮…阪神間モダニズム

六甲山

尼崎城・寺町

ハービスプラザ・エント

神戸・北野エリア

神戸高速線

武庫川線

阪神なんば線

神戸・西宮…灘五郷

阪神甲子園球場

神戸・ハーバーエリア

難波から奈良へ…

沿線活性化とは・・・

「住みやすさ」「心地よさ」という阪神沿線の良さをまもり育て、
世代や地縁を越え人々がゆるやかにつながる「知縁」という新しい価値を生み出すことで、
「住みたい」「働きたい」「訪れたい」沿線を目指すこと。

目的

- 沿線外からも行きたくなる魅力ある沿線へ = 交流人口の増加
- 将来的に住みたくなる・働きたくなる沿線へ = 定住人口の増加

施策の方向性

<阪神沿線の目指すべき方向性>

3つの提供価値

住みやすさ

心地よさ

知縁

知縁：世代を超えて互いに交わり助け合えるオープンなコミュニティが形成されている状態
= 新しい付加価値

沿線地域の方々と当社が**密に連携し、協働することによって、様々なコミュニティを形成、人の交流を活発にして街の賑わいを創出することで、ワクワクする沿線を実現する。**

- **大都市間**でありながら、**海と山に隣接した豊かなエリア**
- **今後、人口減少と高齢化は進む**
- **持続可能な社会に向けた私たちの想い**



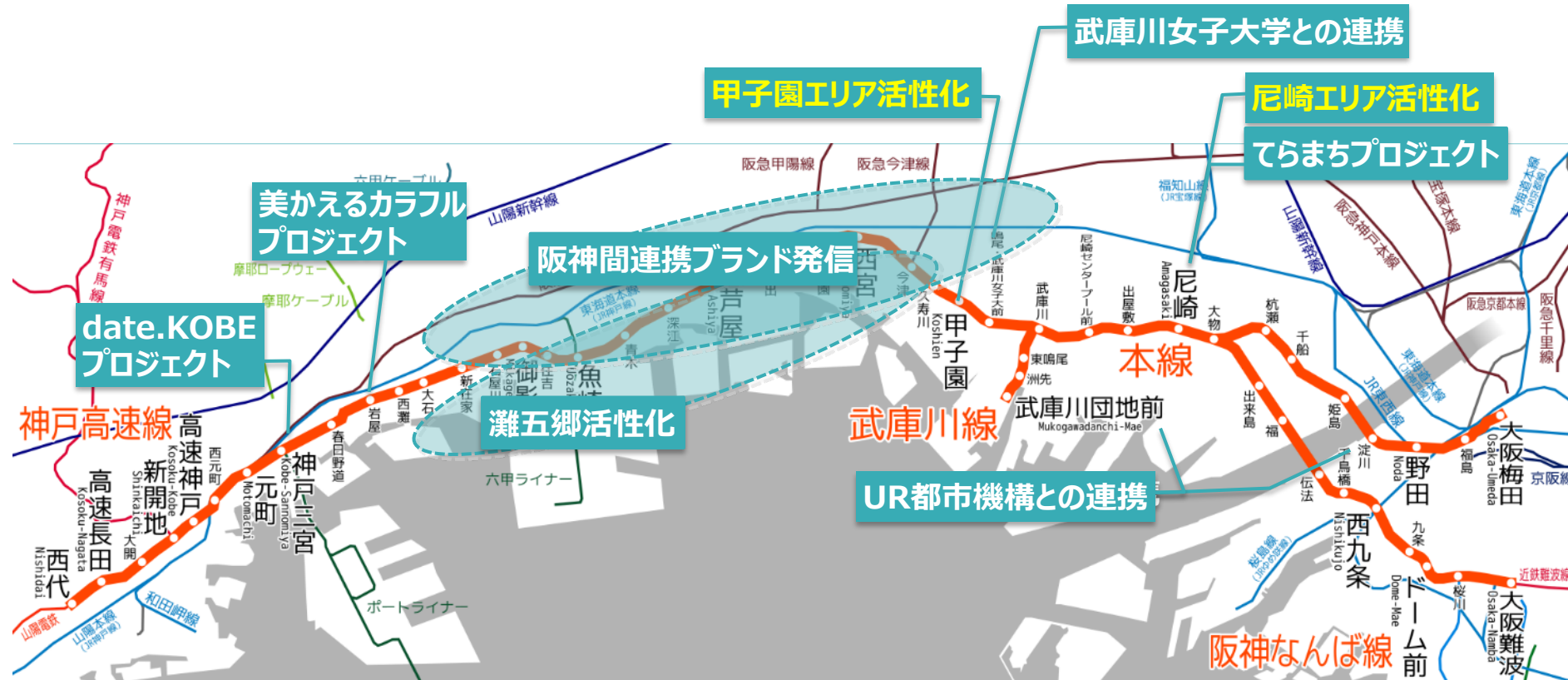
住みたい

働きたい

訪れたい

「ワクワクする沿線」を実現！

沿線各地で様々な施策を展開



← 沿線医療機関との連携 →

← はんしん子育て沿線「tetotte（てとって）」 →

← 沿線活性化活動PR「エンカチ」 →

■概要

- ・ 尼崎駅周辺にまとまって立地している公共施設、公共空間（下図参照）の管理を民間が包括的に受託することで、従来の管理費用を削減。当該削減分をサービス向上や賑わい創出の取組みへ充当することで、駅前の環境やイメージを改善し、エリア賑わい創出や魅力向上を図る。
- ・ 当社を代表企業とする共同企業体は、尼崎市が募集する「阪神尼崎駅周辺公共施設指定管理者及び維持管理業務受託者」において管理者に選定され、2023年4月1日から、対象となる施設の管理業務を担う（5年間）。

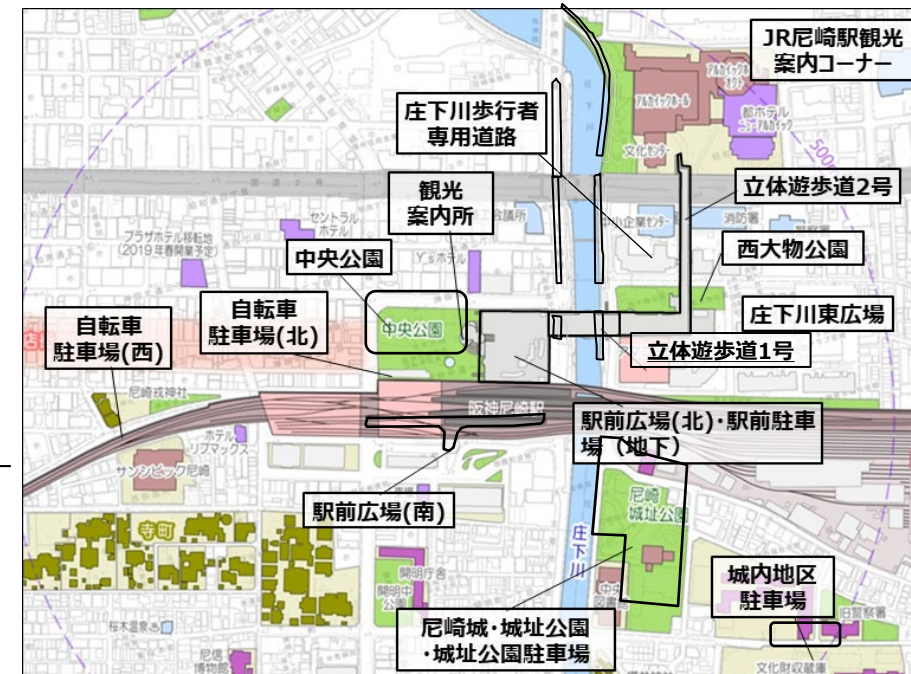
○業務内容

- ・ 対象施設周辺のエリアの賑わい創出、魅力向上
- ・ 対象施設の管理運営業務

< 管理対象施設 位置図 >

○管理対象施設（14施設）

中央公園／尼崎城址公園
庄下川東広場／阪神尼崎駅前駐車場
城内地区駐車場／阪神尼崎駅西駐輪場
阪神尼崎駅北駐輪場／立体遊歩道1号・2号
庄下川歩行者専用道路／駅前広場（南）
駅前広場（北）／西大物公園
あまがさき観光案内所／JR 尼崎駅観光案内コーナー



○管理対象施設



中央公園（1階）



中央公園（2階デッキ）



立体遊歩道



駅前広場（北）

○管理対象施設



阪神尼崎駅北駐輪場



阪神尼崎駅前駐車場



城内地区駐車場



尼崎城・尼崎城址公園



あまがさき観光案内所

■概要

- エリアの一層の賑わいづくりや魅力向上のために、公共施設の包括管理と合わせてハード面の整備を行い、相乗効果を発揮していくとともに、エリアの玄関に相応しいイメージ向上の象徴空間として、官民連携で中央公園を再整備し、エリア価値を高める。
- 本取組は、都市再生特別措置法に規定された都市公園リノベーション協定制度的を用いて、多様な場面で活用できる公園を整備する。
- 具体的には、芝生広場やベンチの設置による日常的な憩いの場の提供や、滞在快適性等向上公園施設（飲食店2店舗）の設置を通じた利便性・滞留性の向上を図るとともに、一体型滞在快適性等向上事業として、阪神尼崎駅北側高架下店舗前の当社用地を公園と一体的なオープンスペースとして整備する。

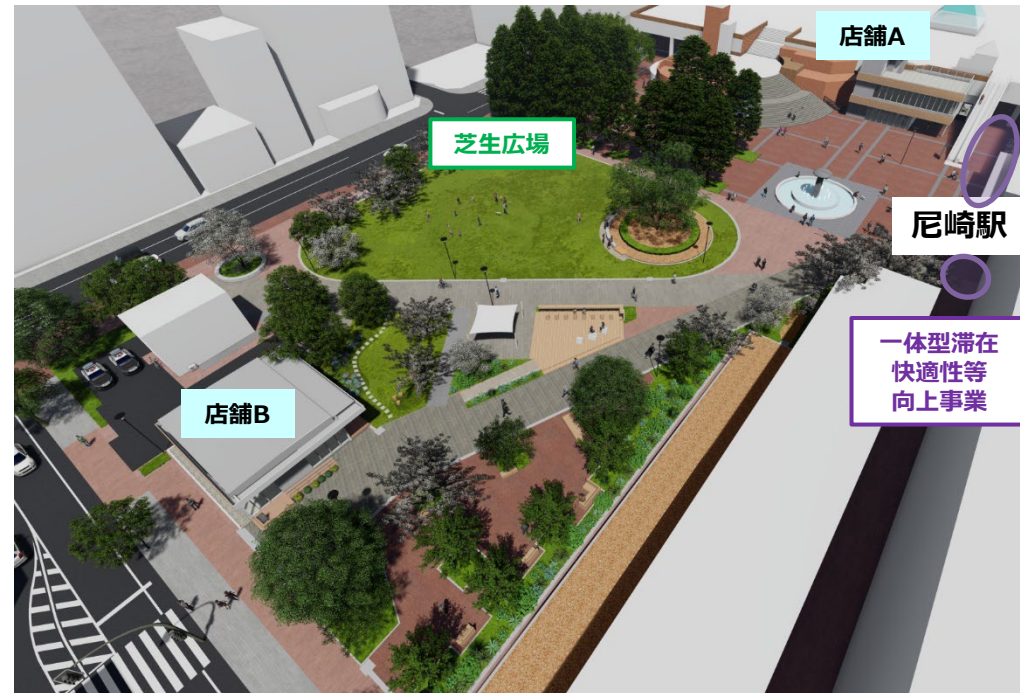
○スケジュール(予定)

- 2024年5月 着工
- 2025年3月 完成・供用開始

<位置図（鳥観図）>



<整備イメージ（案）>



目的

- 甲子園エリアは、住宅や大学、公園・商業・スポーツ施設などの都市資源が豊富であるものの、市域の中で最も高齢化が進むエリアの一つで、乗務員不足が深刻化する中、市と協働連帯して地域公共交通を維持・確保しながら、多様な世代が健やかに住み続けられるまちを実現する。

主な取り組み

○取り組みの方向性

阪神間での自動運転モビリティ導入のモデル地域とし、まちづくり的視点と公共交通的視点の両面から、本取り組みを推進する。

(1) まちづくり的視点

全ての人々にとって利便性が高く、住みたいまちとして選ばれるエリアを形成

(2) 公共交通的視点

モビリティ課題に対応し、地域公共交通を維持・確保

○取り組みの内容（自動運転車両の走行・試乗）

- ・U R 浜甲子園団地内の広場・公園や大型ショッピングモール内駐車場において、自動運転車両を走行し、地域住民等に乗車体験してもらいながら、移動ニーズを調査する。（2022年11月）
- ・初の公道で、自動運転車両を走行し、ステークホルダーや地域住民等に乗車体験をしてもらうことで、甲子園エリアが実装に向けて取り組むまちであることを地域内外にアピールする。（2024年4月）



2022年11月 自動運転走行車両
マイクロ・ロボットタクシーMopi



2024年4月 自動運転走行車両
タジマ社製 GSM8

ポイント

- 自動運転モビリティの先行導入による新たな地域イメージの創出や魅力の向上
（阪神間の地域公共交通の維持・確保のモデル地域）

目的

- これまでの沿線の価値向上に向けたさまざまな取り組みをより多くの方に知っていただき、**沿線イメージの向上やファンの増加**を進めるとともに、**新たな連携先の発掘**を目指す。

主な取り組み

- ステークホルダーへの活動説明

自治体・行政、企業、大学、団体等、沿線ステークホルダーに対し、関係構築と新たな連携に向けた土壌づくりに向け事業説明を実施（2022年度：17団体に個別説明実施）



- 「エンカチ」による活動 P R

- ① W E B サイト

2023年3月末、阪神沿線活性化WEB「エンカチ」をオープン。情報発信のプラットフォームとして全施策を紹介するほか、イベントなどの情報を機動的に発信する。

コンテンツ
沿線活性化とは、プロジェクト紹介、NEWS、イベント情報、デジタルアーカイブ、連携パートナー紹介等

- ② パンフレット

活動概要を紹介する冊子を制作し、イベントでの配布、駅配架を実施し、活動の認知向上とW E B サイトへの誘導を促進するほか、ステークホルダーへの事業説明時にも活用する。



ポイント

- **当社の取り組みへの認知・理解向上（沿線イメージの向上）**
- **新たな連携先とのつながりによるワクワクする沿線の実現**

